

藤小 家庭学習スタンダード ～自主学習のすすめ～

鶴ヶ島市立藤小学校 学力向上委員会

●自主学習とは・・・自分で何を学習しようか考えて決め、自分で続けていく学習のこと。

言われなくても自分で始められること→自主性

自分で学習することを決められること→計画性

学習することの楽しさを味わえること→「自ら学び続ける力」をつける。

- 家庭の学びの時間が楽しくなる。→学校の学習の時間が豊かになる。→子どもにとって幸せな時間が増える。
- 少しの時間でも毎日続けていくこと→自己肯定感が育つ。
→保護者にとっては褒めるきっかけ、良い言葉がけが増える。
- 同じ時間に取り組めるようにすること→家庭学習の習慣づけ
生活のペースが安定する。
- 低学年から取り組んでほしい自主学習学習
→低学年は保護者の協力が必要不可欠である。
子どもは親と一緒に取り組んでくれることをとても喜ぶ。
一緒に取り組むと子どもの得意なことやつまづきがよく分かる。
子どもに対してプラスの声掛けがたくさんできる。
本と一緒に読む、週に一回の日記など、各家庭でできることから取り組んでもらえるよう、懇談会などで勧める。

●どのくらい家庭学習すればいいのか

家庭学習の基準は「学年×10分以上」→6年生は1日60分以上の家庭学習ができるようにしたい。

→中学生になると2～3時間の家庭学習が必要とされるが、集中できる効率の良い学習時間は平均1時間、1時間の家庭学習が習慣化されていれば、1時間学習→休憩→1時間学習というサイクルで学習することが可能になる。(中1プロブレムの軽減)

●宿題との両立について

家庭学習の時間は学年×10分

→宿題の進み方も人によって違う。例えば宿題が20分で終わる人は、40分の自主学習をする。宿題だけで60分かかると人は、宿題にしっかり取り組むことが目標になる。

●自主学習ノート作りの4つのルール

- ①取り組んだ日付や時間、ナンバーを書く。
- ②テーマやめあてを書く。
- ③振り返りを書く→Tチャートの活用
- ④しっかりメニューとわくわくメニューにバランスよく取り組む。

よかったところ ○	改善点など △
自分の考えが しっかり書けた。	もっと図や表を 使ってまとめたい。

●自主学習の2種類のメニュー

①「しっかりメニュー」

漢字や算数ドリル、教科書の復習など、学校で学習していることに直接結びつく、自分が苦手なところやもっと力をつけたいと思うところを計画的に勉強していくメニュー。

②「わくわくメニュー」

社会や理科で興味を持ったこと、お料理のレシピ、新聞を読んで気になるニュースについてまとめる、自分が好きなスポーツの記事を集める、デジカメを使った旅行記、好きな本の紹介、あったらいいなこんなもの、身の回りのふしぎ、スケッチなど…興味や関心があることについて調べたり、まとめたりするメニュー。

●自主学習カレンダーで自分の学習の様子を知る（添付資料は高学年用）

→学年の発達段階に応じて、項目を変更することも可能

※習い事や塾のある日はカレンダーに予定を書き込んでおくと良い。

塾で取り組んだプリントなどを貼るのも良いが、貼りっぱなしにせず、振り返りをさせる。

※体調が悪い時は決して無理しないこと→カレンダーに書く。

●自主学習を続けるために必要なこと

- ・自主学習の取り組み方について、最初に教師がレクチャーすること。
- ・最初の2週間は毎日チェックし、励ます。
- ・ノートの添削については教師側も長続きするように工夫する。
例…コメントは時間に空きのある曜日のみ行うなど
→先生の励ましがなくても学習する子どもを育てることが目標
- ・ギャラリーウォークをする…お互いのノートを見合い、付箋で「いいね」のコメントを付ける。
- ・良い取り組みを紹介したり、教室に掲示したりする。
- ・授業の中で自学のネタを提供する。
- ・保護者に自主学習ノートの見取りをしてもらう。（特に低学年）
- ・保護者と取り組む自主学習を推奨する。
- ・慣れてきたら「見開き2ページワクワク編」にチャレンジする。
→学ぶ楽しさを味わわせるには効果的であり、長い時間集中できたことが自信につながる。

●メニューの例（低学年）

①しっかりメニュー

- ・漢字練習（新しい漢字、習った漢字）
- ・漢字の熟語づくり
- ・漢字テスト練習
- ・算数ドリルの練習
- ・教科書の問題の復習
- ・教科書の予習
- ・テストの間違い直し など

②わくわくメニュー

- ・先生あのね（日記）
- ・みつけたよ日記
- ・お手伝い日記
- ・生き物や植物の観察
- ・交通標識見つけ
- ・あったらいいな、こんなもの
- ・工作
- ・音楽記号調べ
- ・図鑑調べ（恐竜、植物、魚、昆虫、宇宙、乗り物など）
- ・折り紙や貼り紙
- ・キャラクター作り
- ・なわとび
- ・好きな本の紹介（絵や文） など

●メニューの例（中・高学年）

①しっかりメニュー

- ・今日の授業の復習 ・漢字練習（新しい漢字、習った漢字） ・漢字の熟語づくり
- ・教科書のわからない言葉調べ ・ローマ字の練習 ・詩や物語、教科書の視写
- ・算数の予習（わからないところ探し）
- ・算数ドリルの復習、予習 ・算数の文章問題作り ・理科や社会の予習やまとめ
- ・テストの間違い直し ・テストの準備 ・家にある問題集、プリント など

②わくわくメニュー

- ・物語作り ・日記 ・うれしかったことベスト3 ・俳句や短歌作り ・素敵な友だち紹介
- ・家族の紹介（ペットもOK） ・宝物紹介 ・行事の振り返り ・おすすめの本の紹介
- ・読書の感想 ・四字熟語調べ ・ことわざ、慣用句調べ ・都道府県調べ
- ・世界の国や国旗調べ ・世界遺産調べ ・歴史の人物調べ ・地図帳調べ
- ・気になる新聞の記事（スポーツもOK）を切り抜いて、自分のコメントを書く
- ・植物観察 ・星座調べ ・身近な不思議探し ・お料理調べやお料理したこと
- ・図鑑を調べる ・楽器を練習したことやポイントを書く
- ・四コママンガ ・写真で紹介（カメラや写真を使う時はお家の人に聞いてから使う）
- ・筋力トレーニング（メニューと回数を書こう） ・リフティングに挑戦 ・なわとび
- ・ジョギング日記 ・お手伝い（やったこと、気付いたこと） ・スケッチ
- ・クイズ作り ・あったら便利なものを紹介

※イラストや4コマ漫画などはていねいに取り組む、そればかりが続かないように指導する

【参考文献】

自主学習ノートの作り方	伊垣 尚人著	ナツメ社
子どもの力を引き出す自主学習ノート実践編	伊垣 尚人著	ナツメ社
小学生の究極の自学ノート図鑑	森川 正樹著	小学館
自宅学習の強化書	葉一著	フォレスト出版

【スタンダード化に向けての課題と検討事項】

●自主学習カレンダーは統一するのか？

現状…学年によってさまざまな形態をとっている。

統一してあることの良さ…新学年になった時、取り組みやすい。

カレンダーにICTを活用することの良さは？

1 週間を見通す、振り返る、積み上げ感は紙の方が良いか？

●学校の取り組み（案）

「家庭学習のすすめ」…ICT を利用したコラムを定期的に発信していく。

→良いノートを紹介したり、自主学習のメニューを紹介したりすることで、紹介された子供にとっては励みになり、保護者にとっては他の子どもの取り組みを気軽に見ることができる。自分の子どもへのアドバイスの一助になったり、子どもとの共通の話題になったりする。